



## 「2学期教育活動アンケート」の結果についてお知らせします

2学期末に実施した「教育活動アンケート」への御協力ありがとうございました。調査結果をまとめましたので御報告します。

### 【数値結果】

数値は、各項目の「あてはまる、どちらかと言えばあてはまる、どちらかと言えばあてはまらない、あてはまらない」の4つの選択肢のうち、「あてはまる」と回答いただいた割合(%)を示しています。

	質問項目	対象	R4/12月	R5/12月	R6/7月	R6/12月	順位
1	学校が楽しい	児童	65	60	60	58	
		保護者	57	58	51	53	保③
2	みんなで何かするのは楽しい	児童	78	76	75	73	児③
		保護者	65	68	64	68	保①
3	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している	児童		47	52	48	児②
		保護者		22	18	17	保①
4	授業に主体的に取り組んでいる	児童	53	51	50	48	児②
		保護者	35	33	33	37	
5	授業がよく分かる	児童	56	52	52	51	
		保護者	20	22	27	26	保③
6	一人で考えたりみんなで考えたりするのは楽しい (昨年までは「友達と関わりながら授業に参加している」でした。)	児童	72	64	64	61	
		保護者	40	41		46	
7	先生や友達の話をしっかり聞いている	児童	76	70	62	58	
		保護者	32	34	35	37	
8	先生や友達に自分の考えを伝えている	児童	60	47	49	44	児①
		保護者	24	24	22	26	保③
9	自分にはよいところがあります	児童	61	53	55	51	
		保護者	31	31	36	35	
10	友達のよいところを知っている	児童	84	81	76	79	児①
		保護者	46	48	47	51	保⑤
11	思いやりの気持ちをもって生活している	児童	68	62	63	60	
		保護者	47	50	50	52	保④
12	学校のきまりを守って生活している	児童	66	61	60	56	
		保護者	54	55	52	50	
13	体を動かすことが楽しい	児童	77	74	74	70	児④
		保護者	61	63	63	64	保②
14	食べ物に興味を持って給食を食べている	児童	58	55	54	52	
		保護者	44	47	46	47	
15	安全に登下校できるように気を付けている	児童	79	75	74	77	児②
		保護者	51	53	47	49	
16	学校や登下校中に地震が起きたとき、どのように行動すればよいか分かっている	児童	74	67	64	62	
		保護者	31	31	25	25	保②
17	自分のよいところやがんばっていることを、先生はほめたり認めたりしてくれる	児童	63	61	57	53	
		保護者	46	50	40	47	
18	家庭学習に自分から取り組んでいる	児童	54	50	56	49	児⑤
		保護者	29	29	32	29	保⑤
19	テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている	児童	61	53	56	52	
		保護者	38	36	38	37	
20	家の人と将来のことについて話すことがある	児童	52	49	49	48	児②
		保護者	41	42	47	44	
21	学校に信頼できる先生がいる	児童	77	72	70	66	児⑤
		保護者	44	43	45	33	

<順位欄> 白丸数字は数値が高かった項目、黒丸数字は数値が低かった項目です。※裏面に続きます

## 【分析と考察】

### ＜全体的に見ての気付き＞

- 数値の高い項目と低い項目を見ていくと、例年と同様の傾向が見られています。特に「みんなで何かをするのは楽しい」や「友達のよいところを知っている」については、市内の学校と比較しても数値が安定して高い傾向にあり、北小児童の温かさや優しさを示しています。
- 年度を追って見ていくと、全体的に児童の数値が少しずつ下がっています。選択肢のうち「あてはまる」へ自信をもって回答する児童の割合が下がっており、これまで以上に、自己有用感を育てる視点を大切に教育活動を展開できるよう、居場所づくり・絆づくりを大切にして地域・家庭と学校とが力を合わせて取り組む必要性を感じています。

### ＜主な成果＞

- 設問 10「友達のよいところを知っている」の数値が最も高く、児童会スローガン「友達をもっともっと笑顔にしよう」を掲げる北小のよさが表れています。児童数 960 名、外国籍児童 100 名を超える学校で、多様な友達とかかわり互いの良さを認め合う「共生・共育」の学校づくりを今後も進めていきます。
- 設問 2「みんなで何かをするのは楽しい」の数値が児童保護者ともに高く、学校教育目標「夢いだき 共に高め合う子」に向かって具現化された教育活動の成果と感じます。特に、ステージ制の中で、運動会や学年行事、6 年生ありがとうの会などをステージの集大成の表現の場として位置付け、目標を児童も教師も共有したことで、全員が同じ目標に向かい取り組むよさやその過程での成長を実感できているのではないかと考えます。来年度も、ステージごとの目標やめざす姿をより意識できるよう取り組んでいきます。

### ＜主な課題＞

- ▲設問 8「先生や友達に自分の考えを伝えている」、設問 18「家庭学習に自分から取り組んでいる」の数値が、児童保護者ともに低くなっています。また、設問 5「授業がよく分かる」の数値も上がっていません。本校では教職員の研修において「よく考え主体的に学ぶ子の育成」をテーマに授業改善に取り組んでいますが、今後はより一層、個別最適な学びの充実を図りながら、児童一人一人が自分の考えを表現したり学んだことを自覚したりできるための授業に向け、取り組んでいきます。
- ▲設問 15「安全に登下校できるように気を付けている」の児童の数値が高い一方で、設問 16「学校や登下校中に地震が起きたとき、どのように行動すればよいか分かっている」の保護者の数値が低い傾向にあります。本校では避難訓練をはじめ防災・安全教育の充実を図っていますが、家庭や地域と連携しての取組がよりいっそう求められていると捉え、訓練の手立てを工夫するなど充実を図っていきます。

## ＜2 学期末アンケート「運動会に関する感想・意見」より、多かった御意見＞

### ＜競技・児童の表れ＞

- 運動会で楽しみながら頑張る姿を見て、成長を感じた。特にダンスや組み体操はよかった。
  - 高学年の児童が、下級生の面倒をみたり、一人一人に役割があり責任をもって取り組んだりし、子ども主体での運動会がよかった。スローガンがそれぞれの国の言葉で書かれてあったり、日本語のアナウンスの後にポルトガル語のアナウンスが流れたり、一人一人の児童を大切にしていることが伝わった。
  - 低学年のリレーは、距離が短くてもトラックを使った方が、どこで誰が走っているかや順位が分かりやすい。
- 今年度は、学習指導要領の低学年の内容に則って、「折り返しリレー」とさせていただきました。次年度に向け、内容や方法を再度検討していきます。

### ＜開催方法＞

- 優先エリアがあり、入れ替え制であるのが良い。ずっと優先エリアにいる方もいたので、種目・学年ごとに入れ替えアナウンスがもっとあると、よりスムーズに見られると感じた。
  - 参観者の人数制限をなくしてほしい。祖父母が参観できるようにしてほしい。
  - 多くの保護者（家族）が参観できるようにしてほしいが、以前のような保護者の場所取りはなくてよい。
  - 1 家庭 2 人までのルールの中、受付で名札をもらい人数以上で入れたと話している人がいた。人数制限をするなら昨年度のように徹底してほしい。
  - 平日開催や半日開催についても検討してほしい。
- 本校では、運動会を「みんなが集まって一つのことができる機会」として大切に考えています。また、家庭・地域の方もより多くの方に御覧いただけたらと思います。学校規模の割に運動場が狭く御不便をお掛けしていますが、それらの視点を大切にして、次年度に向け開催方法を再度検討し可能なことは実現していきます。